

滞留水の貯蔵状況(9月24日時点)

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

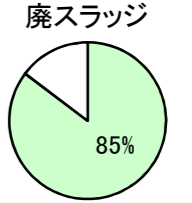
- ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量**
 - ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
 - ・処理装置(セシウム吸着装置, 第二セシウム吸着装置)は運転中
- ②1~4号機タンク貯蔵量**
 - ・淡水化装置による処理により, 淡水及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
 - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ③5, 6号機滞留水貯蔵量**
 - ・構内散水によりFエリアタンク貯蔵量は変動あり
- ④廃棄物発生量**
 - ・除染装置停止中のため, 廃スラッジ貯蔵量は変動なし

①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約13,800m ³	OP.3,071
2号機	約17,900m ³	OP.3,158
3号機	約19,600m ³	OP.3,231
4号機	約19,300m ³	OP.3,264
合計	約70,600m ³	

貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約18,050m ³	OP.5,106
高温焼却炉建屋	約4,940m ³	OP.3,284
合計	約22,990m ³	

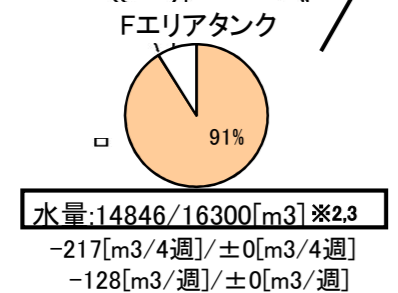
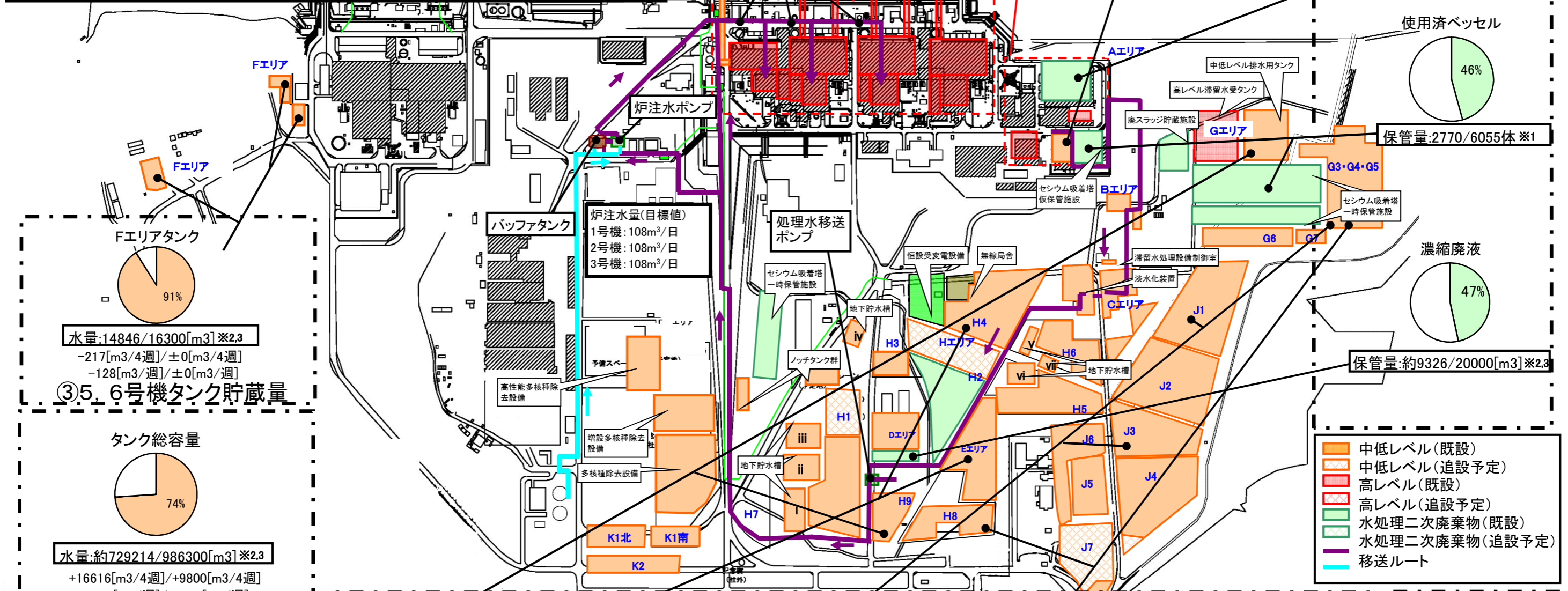
④廃棄物発生量



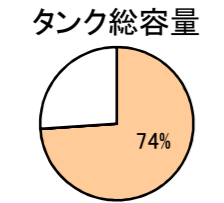
保管量:597/700[m³]*3

	貯蔵量	貯蔵容量
廃液供給タンク	765m ³	1,200m ³
SPT(B)	1,280m ³	3,100m ³
(合計)	+110[m ³ /4週]	(合計):-62[m ³ /週]

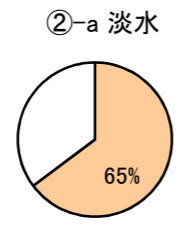
(合計)+3500[m³/4週] (合計)-1900[m³/週]



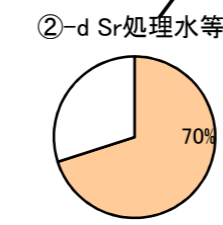
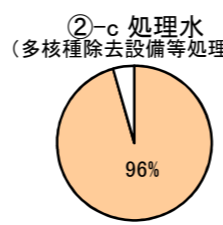
③5, 6号機タンク貯蔵量



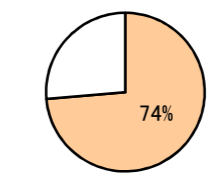
タンク貯蔵量合計(②+③)



②-b濃縮塩水(残水)



1~4号機タンク総容量



水量:約810003[m³]
+21963[m³/4週]*5
+3908[m³/週]

建屋内貯蔵量
+
1~4号機タンク貯蔵量
(①+②)

水量:約17813/27500[m³]*2,3
水位計0%以上の水量:16813[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約1000[m³]

水量:約3600/157900[m³]*2,3
水位計0%以上の水量:約500[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約3100[m³]

水量:約537014/562100[m³]*2,3,4,6
水位計0%以上の水量:536014[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約1000[m³]

水量:約155941/222500[m³]*2,3
水位計0%以上の水量:152941[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約3000[m³]

水量:約714368/970000[m³]*2,3,4
水位計0%以上の水量:706268[m³]
タンク底部~水位計0%の水量(DS):約8100[m³]

+1503[m³/4週]/±0[m³/4週]
+197[m³/週]/±0[m³/週]

±0[m³/4週]/±0[m³/4週]
±0[m³/週]/±0[m³/週]

+15140[m³/4週]/+18300[m³/4週]
+3698[m³/週]/+15900[m³/週]

+190[m³/4週]/-8500[m³/4週]
+1895[m³/週]/-8500[m³/週]

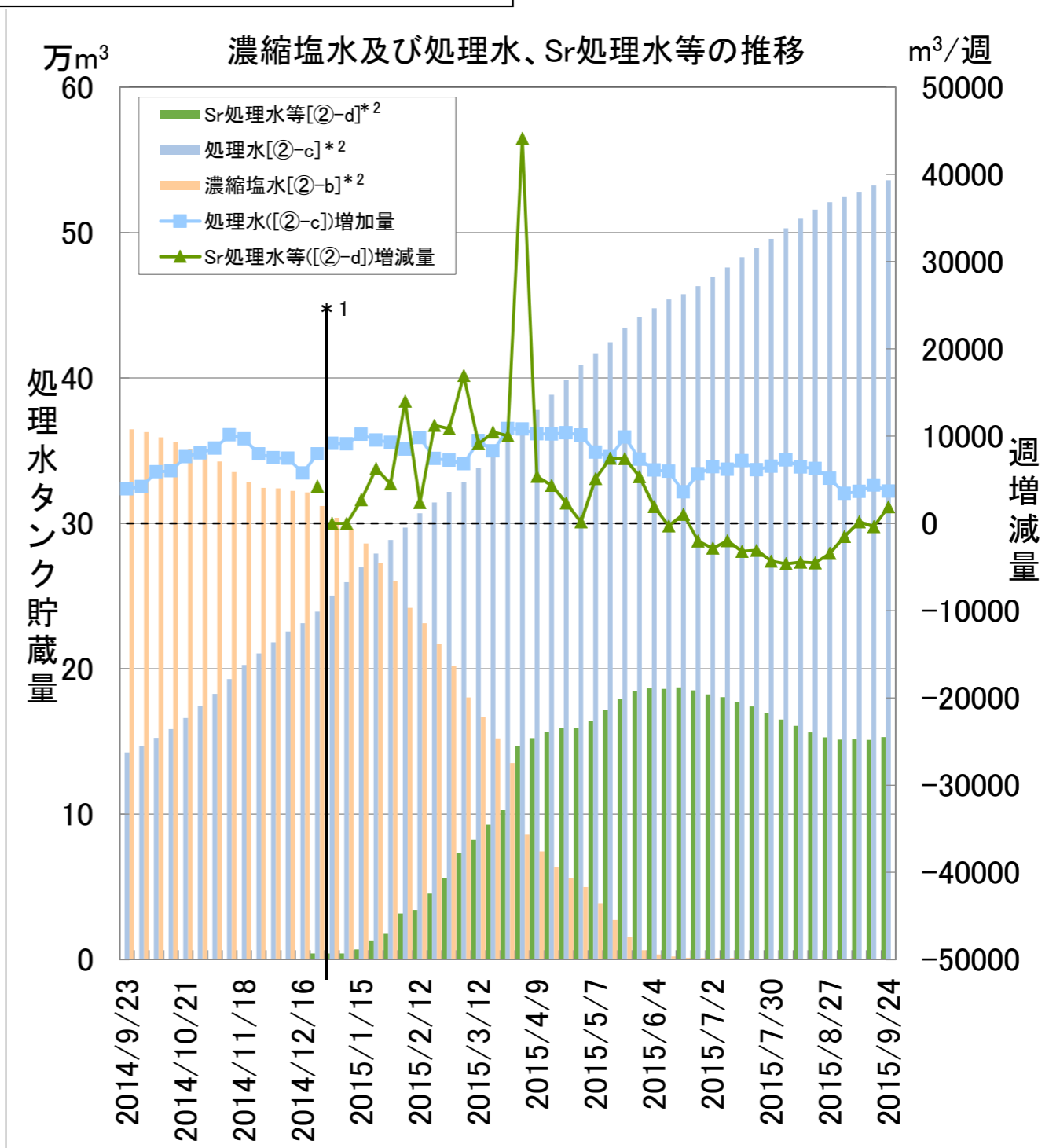
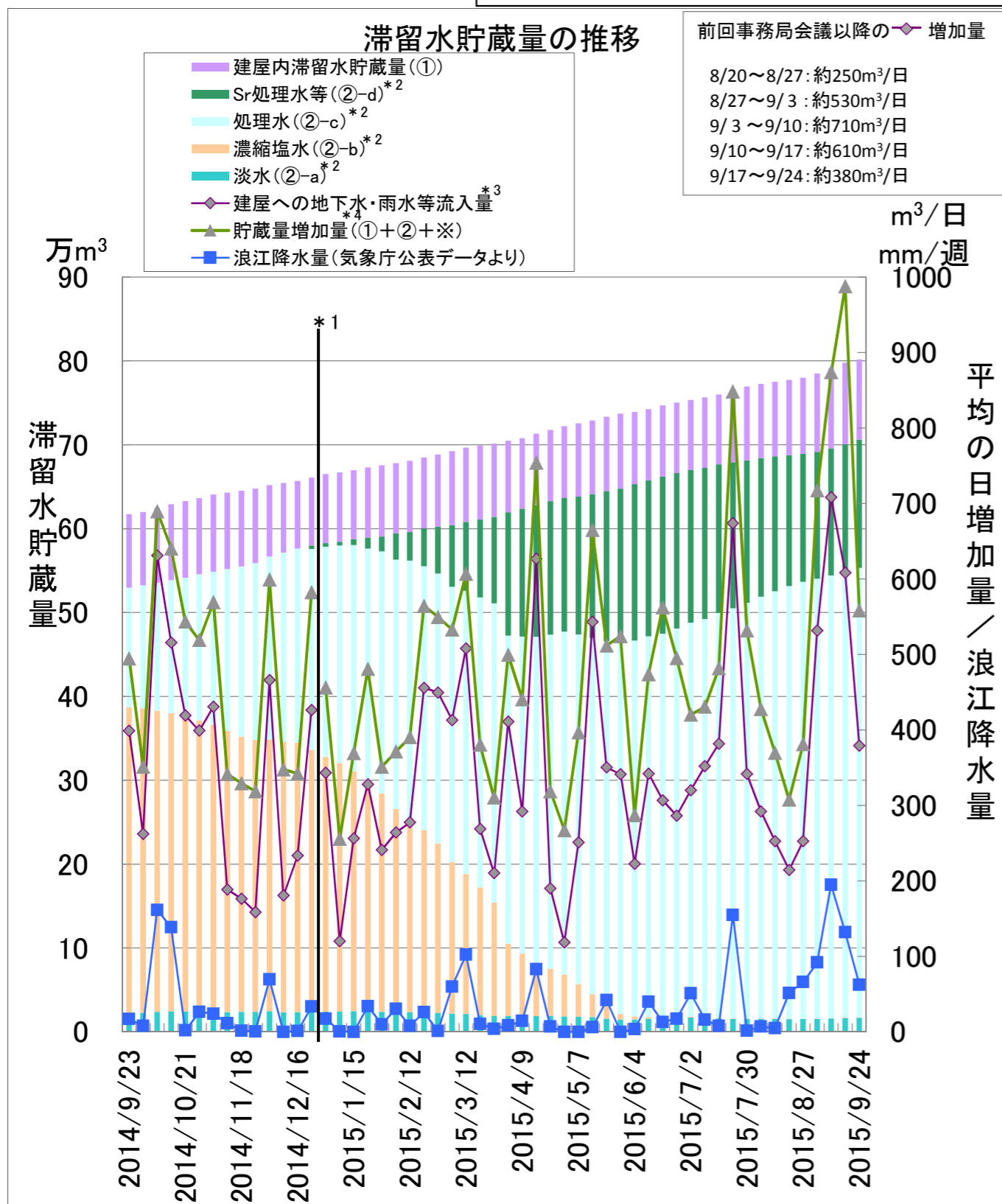
+16833[m³/4週]/+9800[m³/4週]
+5790[m³/週]/+7400[m³/週]

②1~4号機タンク貯蔵量

タンク堰内水の一時貯留量(*9月28日時点の値を記載)
・ノッチタンク群 約500(±0[m³])/約4900[m³]

※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む
※2 装置稼動中につき水位が安定しないため参考扱い
※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記)
※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵
※5 ウェルポイント(約1310m³/週)の移送量約1310m³/週を含む
※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む

滞留水の貯蔵状況の推移



処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m ³]	[m ³ /週]	[m ³ /日] ^{注1)}	[m ³ /日]
既設多核種除去設備 ^{注2)}	254,352	28	4	750以上
増設多核種除去設備	202,861	3,670	524	750以上
高性能多核種除去設備	84,763	0	0	500以上
高性能 検証試験装置	1,128	0	0	50
Sr処理水等	期間処理水		定格処理量	
	[m ³ /週]	[m ³ /日] ^{注1)}	[m ³ /日]	
セシウム吸着装置	5,434	776	600	
第二セシウム吸着装置			1200	

- ①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))
- ②: 1~4号機タンク貯蔵量([②-a淡水]+[②-b濃縮塩水]+[②-c処理水]+[②-dSr処理水等])
- ※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

*1: 2015/1/1より集計日を変更(火曜日→木曜日)
 *2: 水位計0%以上の水量
 *3: 2015/9/10より集計方法を変更(建屋・タンク貯蔵量の増加量からの評価→建屋貯蔵量の増減量からの評価)
 「建屋への地下水・雨水等流入量」=「建屋保有水増減量」+「建屋からタンクへの移送量」-「建屋への移送量(原子炉注水量、ウェルポイント等からの移送量)」
 *4: 2015/4/23より集計方法を変更(貯蔵量増加量(①+②)→(①+②+※))

注1) 週間の平均値
 注2) 既設多核種除去設備処理水の一部は、残水があるRO濃縮塩水タンクに移送し、Sr処理水等として貯蔵

「滞留水の貯蔵状況」の週間増加量の記載について

- 「滞留水の貯蔵状況」においては、建屋およびタンクの貯蔵状況および貯蔵量の増加量を評価している。
- 9/3より建屋への地下水流入量を低減する目的でサブドレンからの揚水を開始したことに合わせ、建屋への流入量をより正確に把握するため、9/10時点の週間流入量評価より、建屋への地下水・雨水流入状況を下記方式により評価する。

「建屋への地下水・雨水等流入量」

＝ 「建屋保有水増減量」 ＋ 「建屋からタンクへの移送量」

－ 「建屋への移送量（原子炉注水量、ウェルポイント等からの移送量）」

- なお、従来提示してきた「その他移送量除く貯蔵量増加量」（①＋②＋※1－※2）も同様の目的で算出しているが、一部のタンク水位計0%以下の水量が誤差の要因となるため^{（注）}、評価方法を見直すこととする。

注：2015年5月28日廃炉・汚染水対策チーム会合事務局会議資料より

「その他移送量除く貯蔵量増加量」

＝ 「建屋・タンク保有水増加量」

－ 「建屋への移送量（ウェルポイント等からの移送量）」

－ 「多核種除去設備薬液注入量」